

交野市教委ニュース

第118号（令和元年10月16日発行）

リーディングスキルテストを実施しました！

令和元年10月4日（金）、藤が尾小学校の6年生がリーディングスキルテストに取り組みました。リーディングスキルテストとは、基礎的読解力を診断するためのテストで、その結果を今後の子どもたちの学習に役立てることを目的としたものです。

リーディングスキルテストとは・・・

テストは、Web解答方式で、子どもたちはパソコンに向かって真剣な表情で取り組んでいました。テストは次の6つの内容で構成されています。

- ①文を読んで、要約されたもう1つの文中の空欄にあてはまる語句を選ぶ
- ②2つの文を読んで、同じ内容かを判断する
- ③文中の指示されたものが何を示しているかを選ぶ
- ④文を読んで、もう1つの文が正しいか間違っているかを選ぶ
- ⑤文を読んで、その内容に合う図やグラフを選ぶ
- ⑥文を読んで、指定された語句が正しく使われているものを選ぶ

これらの内容の問題がそれぞれ15問程度出題されます。子どもたちの、悩みながらも何とか解答しようとする姿が印象的でした。

終了後には、結果と受験者に対するアドバイスが画面に表示されます。自分のテストの結果がすぐに分かり、子どもたちからは、「文章の意味は読み取れていた。」「グラフの読み取りができなかった。」など様々な感想が聞こえてきました。



交野市の学びの柱

「文章を正しく読む」ことは、当たり前のように思いますが実は子どもたちにとっては難しいことです。しかし、様々な情報や意見の中から自分の考えを持ち、それを表現するためには、「読む」「聞く」というプロセスとその能力が必要です。

交野市では、「言語活用力の向上」「プログラミング教育の推進」「外国語教育の充実」を「交野市の学びの3つの柱」として小中一貫教育を推進しています。これからの未来を生きる子どもたちに必要となる資質・能力を育成するために、日々の授業において、より質の高い言語活動を取り入れ、「交野市の学びの3つの柱」の1つである「言語活用力の向上」に取り組んでいきます。